



朝五中だより

平成30年3月1日発行

朝霞市立朝霞第五中学校

〒351-0031 朝霞市宮戸1580 HP <http://www.asakadai5chu.city-asaka.ed.jp>

TEL 048(471)2236 FAX 048(476)1328 E-mail 5chuu@asaka-c.ed.jp

長所を生かして

校長 土橋 徹嘉

今年度最後の月を迎えました。月日の経つのは本当に早いものです。3月の異称は弥生ですが、これには「草木が生い茂る月」の意味があり、春を迎えて草木がどんどん育つ時期で、いやが上にも生え繁ることを「いやおい」と言い、それが「弥生(やよい)」になったと言われています。草木は、これまでの厳しい寒さの中でじっと根を張り、暖かくなってくるとともに、更に一回り成長するための活動を始めていく時期になります。



さて、今回の冬季オリンピックでは日本人選手の活躍に多くの感動がありました。メダルの獲得数も過去最高となり、2年後の東京でのオリンピック・パラリンピック、今年のサッカーのワールドカップや来年本県で開催されるラグビーワールドカップなどスポーツ各競技大会での日本人選手の活躍が楽しみになったところです。今回のオリンピックで、スケート競技の女子パシュートでは見事オリンピック記録で金メダルに輝きました。選手のチームワークは大変に素晴らしく、メダル獲得までの取組も盛んに報道されていました。一昨年のリオオリンピック陸上男子100m×4でメダルを獲得したのも記憶に新しいところですが、いずれも日本人らしさや本番までの準備が成果につながったように思います。

ふと、先日、ラグビーの日本代表コーチであったエディージョーンズの記事を思い出しました。『「can't do」で考えるのではなく「can do」を考えるのだ。当時の日本代表の様子から、「なぜ日本はこういう状況なのか？」と様々な人に問いかけると日本人は「体が小さいから」「プロの選手が少ないから」「日本は農耕民族だから」など答える。体が小さいことは事実ですが、それを変えることはできない。しかし、強くなることはできるし、速くもなれる。また、俊敏性を伸ばすことも、賢くなることもできる。』コーチの日本の長所を生かした取組がラグビーワールドカップ南アフリカ戦の大金星につながりました。目の前の壁を乗り越えるには、ネガティブになることなくポジティブに長所を生かす取組により打破できることもある。これは、決して一部のアスリートの話ではないように思います。

今年度のまとめの時期を迎え、生徒一人一人には学習と生活の両面に渡り、必要な知識・技能を身に付いているかを振り返り、明確となった課題があるのであれば、できることや長所を生かしながら課題解決に向けて力を注いでいって欲しいと願っています。そして、全生徒の4月からの新たなステージにおける成長・飛躍を期待しているところです。



学校評価がまとまりましたので裏面にてお伝えいたします。これらの結果を参考に次年度の教育活動につなげていきたいと存じます。本年度も保護者、地域の皆様の本校教育活動へのご理解、ご協力に深く感謝申し上げます。ありがとうございました。